（説明資料５）

「職務の級及び号給決定計算書」の提出について

１　「卒業学校名」欄の記入について

（１）中学校から順に記入すること。（転校等している場合は、卒業学校のみでよい。）

（２）中途退学の場合は、余白に退学時までの取得単位数を記入すること。

（３）大学の聴講生又は研究生として在学した期間は、記入しないこと。

※　この場合、「勤務箇所及び職務内容等」欄に記入すること。

（４）夜間、通信教育の大学等又は大学の専攻科卒業の場合は、学校名の後に、それぞれ「（夜間）」、「（通信）」又は「（専攻科）」と、併せて記入すること。

２　「勤務箇所及び職務内容等」欄の記入について

学校（大学、大学院等）を卒業後から**令和９年３月３１日**までのすべての職歴（見込みを含む。）について、次により年月日順にもれなく記入すること。

（１）教員としての勤務期間がある場合

①　**常勤講師の場合**

任用された「学校名」、「職名（教諭・講師・助教諭・養護助教諭・実習助手等）」及び「形態（欠員補充・育休補充等）」を記入すること。

②　**非常勤講師の場合**

任用された「学校名」、「職名（非常勤講師）」、「形態（初任研・少人数授業等）」及び「一週間当たりの**授業担当時間数（勤務時間数ではない。）**」を記入すること。

なお、介助員・いきいきプラン推進員等で**授業を行わない非常勤職員である**場合には、**職名及び一週間当たりの勤務時間**を記入すること。

（２）民間の会社等の勤務期間がある場合

会社名、会社の形態（株式・個人等）、採用形態（正規・臨時）、職務内容（事務・営業等）、一週間当たりの勤務日数、一日当たりの勤務時間を記入すること。

（３）勤務歴がある場合には、社会保険加入の有無欄に必ず〇を付けること。

（４）職に就いていない期間については、「無職」と記入し、期間のうえで空白ができないように注意すること。

ただし、常勤講師等に任用（その年度の３月３０日まで採用）され、その翌年度も引き続き常勤講師等に再採用（翌年度４月１日から採用）された場合のその年度の３月３１日（１日間）の「無職」期間についてのみ、省略が可能であること。

（５）**夜間又は通信教育の大学等の卒業者**については、**在学中の職歴等**も記入すること。

（６）高校卒業後、**予備校に在学した期間**等がある場合には、その期間も記入すること。

３　その他

（１）太枠内のみ記入すること。

なお、記入内容を確認のうえ、**記名（必ず自署）**すること。

（２）１枚目で記入欄が不足する場合には、２枚目以降の様式をあらかじめコピーして不足分を記入すること。なお、**切り貼りは絶対しない**こと。

２枚目以降の下欄に、氏名・何枚中何枚目を必ず記入すること。

（３）**提出後、職歴に変更が生じた場合には、その内容を「職務の級及び号給決定計算書①」に記入し、記名のうえ速やかに再提出すること。**

（４）**『「職務の級及び号給決定計算書」の記入に係るチェックリスト』と最終確認をして一緒に提出すること。**